

資料3-2

○事業者が考える地震・津波に係る審査における今後の説明の進め方(案)を以下に示す。

審査項目				Nr.	説明事項 (朱書きのものが論点)	審査項目毎の説明のタイミング				2025年度												2026年度						2026年度 7月以降												
						1回目	2回目	3回目	4回目 以降	10月		11月		12月		1月		2月		3月		4月		5月		6月														
						上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下											
地質	敷地の地質・地質構造									概ね審査済み																														
	地質・地周辺構造	敷地近傍									概ね審査済み																													
		敷地周辺海域					1	断層の運動評価の検討方法																																
							2	石川県西方沖の地震の評価と能登半島北部沿岸域断層帯等との運動評価																																
							3	能登半島北部沿岸域断層帯等の傾斜角																																
		敷地周辺陸域					4	最新知見の収集・分析																																
							5	個別断層の活動性評価																																
							6	【30km内】断層の評価方針の策定（スクリーニング）																																
							7	【30km内】検討対象断層の抽出（グルーピング）・選別																																
							8	【30km内】検討用地震の候補となる断層の選定																																
9	断層の運動評価																																							
10	富来川断層と富来川南岸断層の運動評価																																							
地下構造									概ね審査済み																															
地震動	震源を特定せず策定する地震動									概ね審査済み																														
	震源を特定して策定する	地震発生層					11	2025/4/11会合以降の最新知見の収集、分析と反映																																
		福浦断層の地震動評価					12	検討用地震の選定結果																																
							13	評価方針の策定																																
							14	「震源が敷地に極めて近い場合」の地震動評価に関する最新知見の収集・分析																																
							15	「震源が敷地に極めて近い場合」への該当性の整理																																
							16	基本震源モデルの設定と観測記録の再現性の確認																																
		17	震源モデル、震源パラメータ、考慮する不確かさ、不確かさの重畳の設定																																					
		18	地震動評価結果																																					
		19	評価方針の策定																																					
		能登半島北部沿岸域断層帯等の地震動評価					20	令和6年能登半島地震の最新知見の収集・分析																																
	21						スケーリング則の適用性の確認																																	
	22						震源モデル、震源パラメータ、考慮する不確かさの設定																																	
	23						地震動評価結果																																	
	基準地震動Ssの策定					24	応答スペクトルに基づく手法による基準地震動Ssの策定																																	
		25					断層モデルを用いた手法による基準地震動Ssの選定																																	
		26					震源を特定せず策定する地震動の基準地震動Ssの選定																																	
	基準地震動Ssの年超過確率の参照					27	ロジックツリーの設定																																	
		28					年超過確率の水準																																	
	津波	既往津波と数値モデル					29	数値モデルの設定																																
		地域による津波	海域活断層	個別断層					30	期望平均潮位の設定																														
				能登半島北部沿岸域断層帯等の津波評価	31	水位参照点の設定																																		
					32	検討対象断層の選定																																		
33					考慮する不確かさの設定																																			
34					評価方針の策定																																			
35			令和6年能登半島地震の最新知見の収集・分析																																					
36			スケーリング則の適用性の確認																																					
37			波源モデル、波源パラメータ、考慮する不確かさの設定																																					
38			津波評価結果																																					
39			行政機関による津波評価との比較																																					
日本海東縁部		日本海東縁部の地震発生領域の運動を考慮した津波評価					40	想定波源域の設定																																
		41	波源モデル、波源パラメータの設定																																					
		42	パラメータスタディの検討方法																																					
		43	考慮する不確かさの設定																																					
		44	津波評価結果																																					
45		行政機関による津波評価との比較																																						
津波の組合せ		活断層	検討対象の抽出					46	令和6年能登半島地震の最新知見の収集・分析																															
			検討対象の抽出					47	検討対象の抽出																															
			複数地すべりの同時活動の考慮					48	複数地すべりの同時活動の考慮																															
			波源の設定（復元）方法					49	波源の設定（復元）方法																															
			解析手法、解析パラメータの設定					50	解析手法、解析パラメータの設定																															
		東縁部	津波評価結果					51	津波評価結果																															
			検討対象の抽出					52	組合せ対象選定の考え方																															
			線形重ね合わせ					53	等価震源距離、地震動継続時間の設定																															
			同一波動場での組合せ					54	発生時間差の不確かさの考慮																															
			検討対象の抽出					55	組合せ対象選定の考え方																															
基準津波		学地的証拠等との対比	線形重ね合わせ					56	等価震源距離、地震動継続時間の設定																															
			同一波動場での組合せ					57	発生時間差の不確かさの考慮																															
	影響を考慮した基準津波選定の考え方					58	影響を考慮した基準津波選定の考え方																																	
	検討条件の設定					59	検討条件の設定																																	
	津波評価結果					60	津波評価結果																																	
	基準津波策定位置の設定					61	基準津波策定位置の設定																																	
	基準津波の策定					62	基準津波の策定																																	
	対象とする津波堆積物の調査範囲、手法					63	対象とする津波堆積物の調査範囲、手法																																	
	津波堆積物の調査結果					64	津波堆積物の調査結果																																	
	比較結果					65	比較結果																																	
砂移動現象	対象とする歴史記録の調査範囲					66	対象とする歴史記録の調査範囲																																	
	歴史記録の調査結果					67	歴史記録の調査結果																																	
	比較結果					68	比較結果																																	
	ロジックツリーの設定					69	ロジックツリーの設定																																	
	年超過確率の水準					70	年超過確率の水準																																	
	解析モデルの設定					71	解析モデルの設定																																	
	溢水の有無・取水性の確保					72	溢水の有無・取水性の確保																																	
	浮遊砂濃度の設定					73	浮遊砂濃度の設定																																	
	取水設備付近の堆積厚さに対する裕度の確保					74	取水設備付近の堆積厚さに対する裕度の確保																																	
	取水ピット内の堆積厚さに対する裕度の確保					75	取水ピット内の堆積厚さに対する裕度の確保																																	
火山									概ね審査済み																															
地盤・斜面の安定性	評価方針	76	代表施設・評価対象斜面の選定等の方針																																					
	評価結果	77	地盤・斜面の安定性評価結果																																					

▽：資料提出（▼：実績）

☆：審査会合希望時期（★：実績）

—：審査期間（ヒアリング～審査会合）

→：タスクの関連線